

## 議事録

### さいたま市立土合中学校 第2回 学校運営協議会

1 日 時 令和7年11月12日（木）13時00分～14時40分

2 場 所 土合中学校 第一會議室

3 参加者 学校運営協議会委員 9名

#### 《出席》

田辺 雄一 様 (青少年育成中島地区会会长)  
山崎 和美 様 (青少年育成栄和地区会副会长)  
向井 義博 様 (青少年育成土合地区会会长・西堀連合自治会会长)  
島崎 富夫 様 (道場第三自治会長 さいたま浦和地区保護司会 保護司)  
高橋 周一 様 (中島小校長)  
松田 奈津子 様 (本校PTA会長)  
澤本 沙苗 様 (本校PTA副会長)  
清水 一司 (本校校長)  
沼 良 (本校教頭)  
船水 光加 (本校教頭)  
中内 則之 (本校学校地域連携コーディネーター)

#### 《欠席》

佐藤 拓哉 (本校教務主任)

4 内容

(1) 校長あいさつ さいたま市立土合中学校 清水 一司

(2) 委員長あいさつ 田辺 雄一 様

(3) 協議

①生徒による提案について

生徒会

- ・タッチペンの使用について
- ・体育着、ジャージを着用した授業について
- ・冬季登下校時の服装について

委員長

- ・今回の提案を導入することにより生徒の活動がスムーズになるのであれば、生徒会でルールを作り実施することはよいことである。

向井委員

- ・学校生活において制服で過ごす意義について考えることも必要なのではないか。生徒たちが活動しやすい服装ではどうか。

校長

- ・合理性を考えれば、ジャージで過ごすことも方法の一つであるが、T P Oに応じた服装を生徒たちが考え実践をしていく。

②全国学力・学習状況調査結果について

向井委員

- ・先生方の日頃の指導の成果が反映された結果と感じる。言語化の強化については、教科横断的な指導を行うことにより、数年後に成果が発揮されるのではないか。

島崎委員

- ・I C Tの活用により、今と昔では知識の定着度に相違を感じるが、先生方の継続的な指導をお願いしたい。

委員長

- ・今回の結果に満足するのではなく、先生方の授業改善も含め、今後も生徒の学力向上を目指してほしい。

③部活動の地域移行の進捗状況について

校長

- ・今度、地域展開を進めるうえで、土合地区の実態を踏まえた課題についてご意見をいただきたい。

委員長

- ・土合中学校は、大規模校で80周年の歴史があり、部活動により学校を立て直した経緯がある。学校の教育活動においては、生徒指導と部活動は切り離せないものであると考えている。指導者資格を明確し、部活動の教育的意義を十分に理解した指導者を配置願いたい。受益者負担や保険等については、今後課題になるだろう。

島崎委員

- ・市の理念が浸透しておらず、現場が混乱しているように感じる。

向井委員

- ・指導者育成を目的としたスポーツシューレという事業があるが、現在の事業とは別だと認識している。官民連携の視点も必要と感じる。

(6) 閉会

(7) 諸連絡

- ・第3回の開催日について